

# SUNRISE

<SUNRISE = 太陽が昇る「日の出」と、三中(SUN)の雰囲気がいよいよ上がって(RISE)いよいよの思いを込めて…>  
堺市立三国丘中学校 生徒指導通信 生徒指導部発行 No. 21 2025. 9. 25

## いよいよ合唱コンクール。。

来週の水曜日はいよいよ合唱コンクールです。クラスのまとまりはどうか？歌練習を聴いていると、クラスの雰囲気が大体わかるような気がします。過去には大事な練習の時間にケンカが始まったこともあったと聞いています……。どの学校でもそうですが毎年と言っていいほど、そういうことが起こります。約40名が同じ気持ちになることはなかなか難しいですね。同じ気持ちになったとしても、みんなが同じ能力を持っているわけではありません。一生懸命やっているけれど、大きな声が出ない人もいます。そこを理解しなければケンカが起こります。もちろん、全然やる気がなく迷惑をかけ、ケンカになることもあります。でも、今の三中生を見てみると、それは少ないように思えます。

みんな必死だから揉める。必死だから揉めてもいいのか？良くないですね。クラスにはいろんな人がいます。いろんな色をどう混ぜ合わせて、クラスのカラーにするのか？

今のクラスが始まって半年が過ぎます。それぞれにどんな特徴があるのか？どんな性格なのか？もう知っていますよね。知らなければ知ろうとするべきです！！それを知ろうともせずに文句を言うことは良くないと思います。何故なら……。同じクラスだからです。クラスを大事にするということは、そういうことだと思います。クラスの全員が「主役」になるよう、考えるときですね……。

自分たちの心に響く歌声を！！

期待しています。

## 鑑賞？観賞？

今年の合唱コンクールはフェニーチェ堺での実施となります。君たちも知っての通り、一流のホールで、学校での合唱コンクールとは違います。君たちの合唱のために、一流のスタッフがホール準備に取り掛かります。そんな会場で君たちはどのように振る舞いますか？まずは「カンショウ態度」から考えましょう。

鑑賞・・・芸術作品などを見たり聞いたり読んだりして、それが表現しようとするところをつかみとり、そのよさを味わうこと

観賞・・・物を見て、その美しさや趣などを味わい楽しむこと

一般的に対象の芸術性の有無によって使い分けをされることが多いようです。芸術作品などは何らかの意図を込めて作られているので、単に目や耳で見聞きするのみでなく、その意図を理解しようとしたり見定めたりすることが重要です。そのため、芸術作品の場合は「鑑賞」が使われます。具体的には音楽や舞台、映画などには「鑑賞」が使われます。一方で芸術性などがそれほどなく、単純に目で見て楽しむといったニュアンスが強い場合は「観賞」を選びます。だから、テレビや景色、自然のものには「観賞」が使われることが多くなります。芸術作品以外でも「みる」のではなく「理解する、見定める」といったニュアンスが強いものを対象とするのであれば「鑑賞」、そうでないものについては「観賞」と考えることによってより使い分けしやすくなります。

さて、合唱コンクールの舞台発表は「鑑賞」・「観賞」、どちらの態度で臨みますか？一流の演者が名演と呼ばれる舞台やコンサートを作り上げるには一流の観客がいるそうです。スポーツ界も同じで観客の有無や質でパフォーマンスに差が出るそうです。どのレベルにいても「みる」人の大切さは変わらないと思います。一流の観客としての振る舞いができる三中生であることを願っています。